



決して交わることなない

# 平行線

R-18

Adult Only

俺達は  
決して  
交わらない

幼馴染という  
言葉じゃ  
足りないくらい

美しく、醜く  
表せないくらい

絡み合って

複雑で

曖昧な

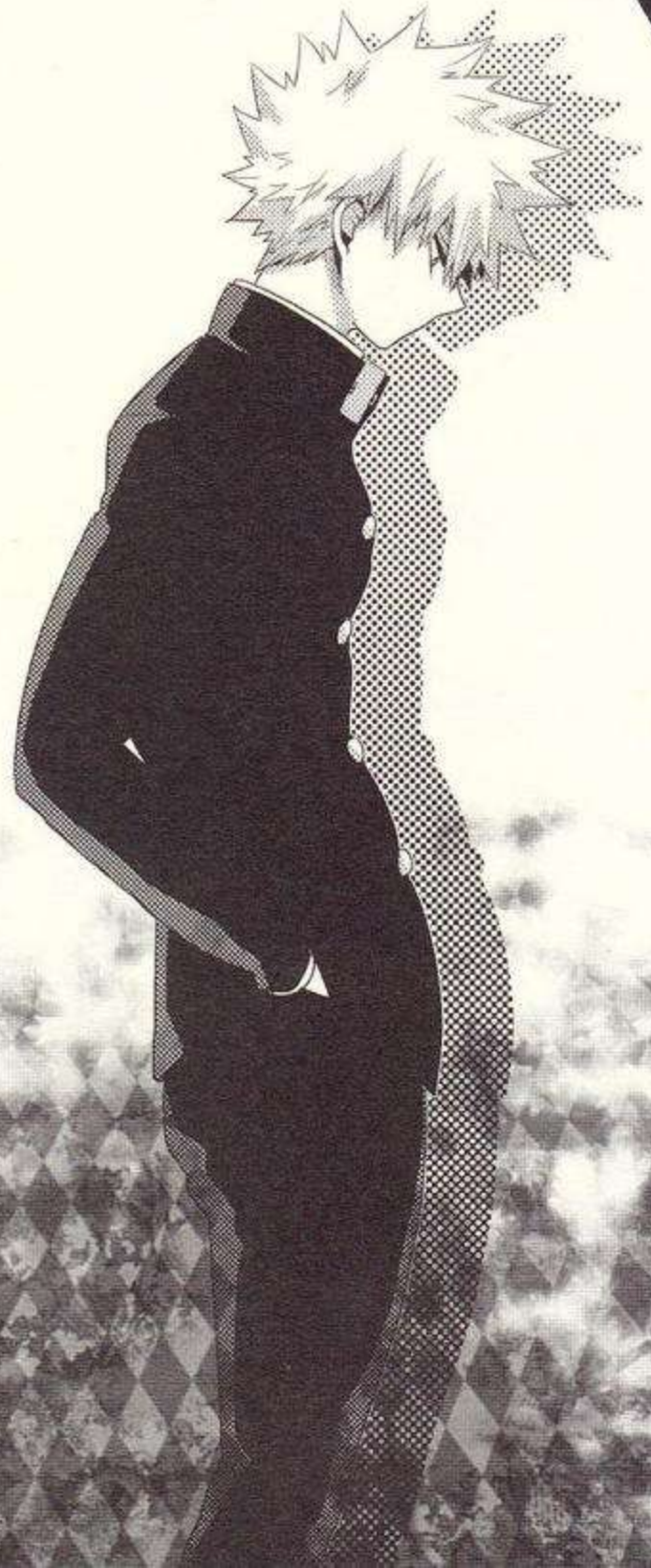


それなのに  
決して近づくこともなく

決して繋がることもなく

決して重なることもなく

過ぎ行く日々を  
ただただ曖昧なままに



——それはまるで交わることを  
拒絶する平行線のように真っ直ぐと

決して交わるこ  
となない

平行線



かつちゃんは  
すごいなあ

強いし

何でも  
出来ちゃう  
もんなあ!

——そのキラキラした目に映るのが  
なんだかとても特別な気がして  
嬉しかったのを覚えている



あつたり前  
だろ!

俺はすげえし  
つえーんだ!

うんっ  
うんっ  
!

キョウ

キョウ

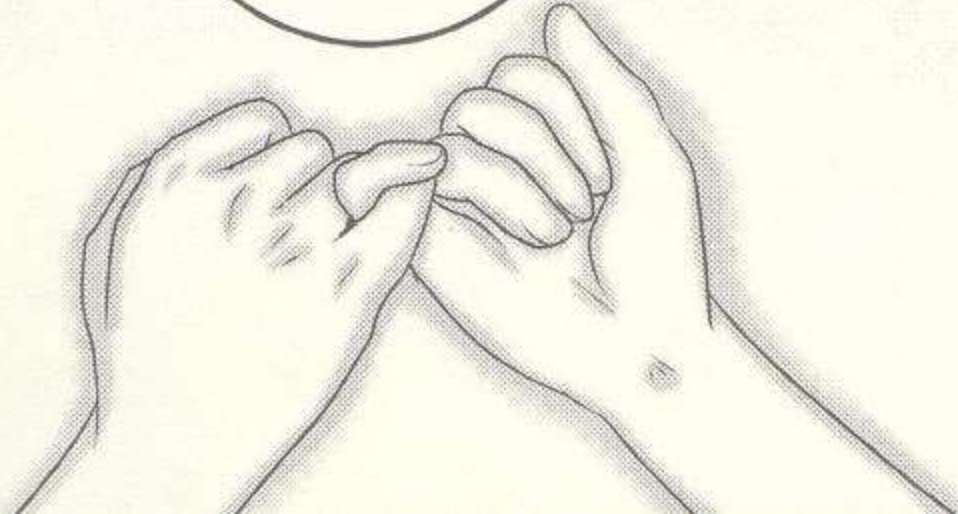


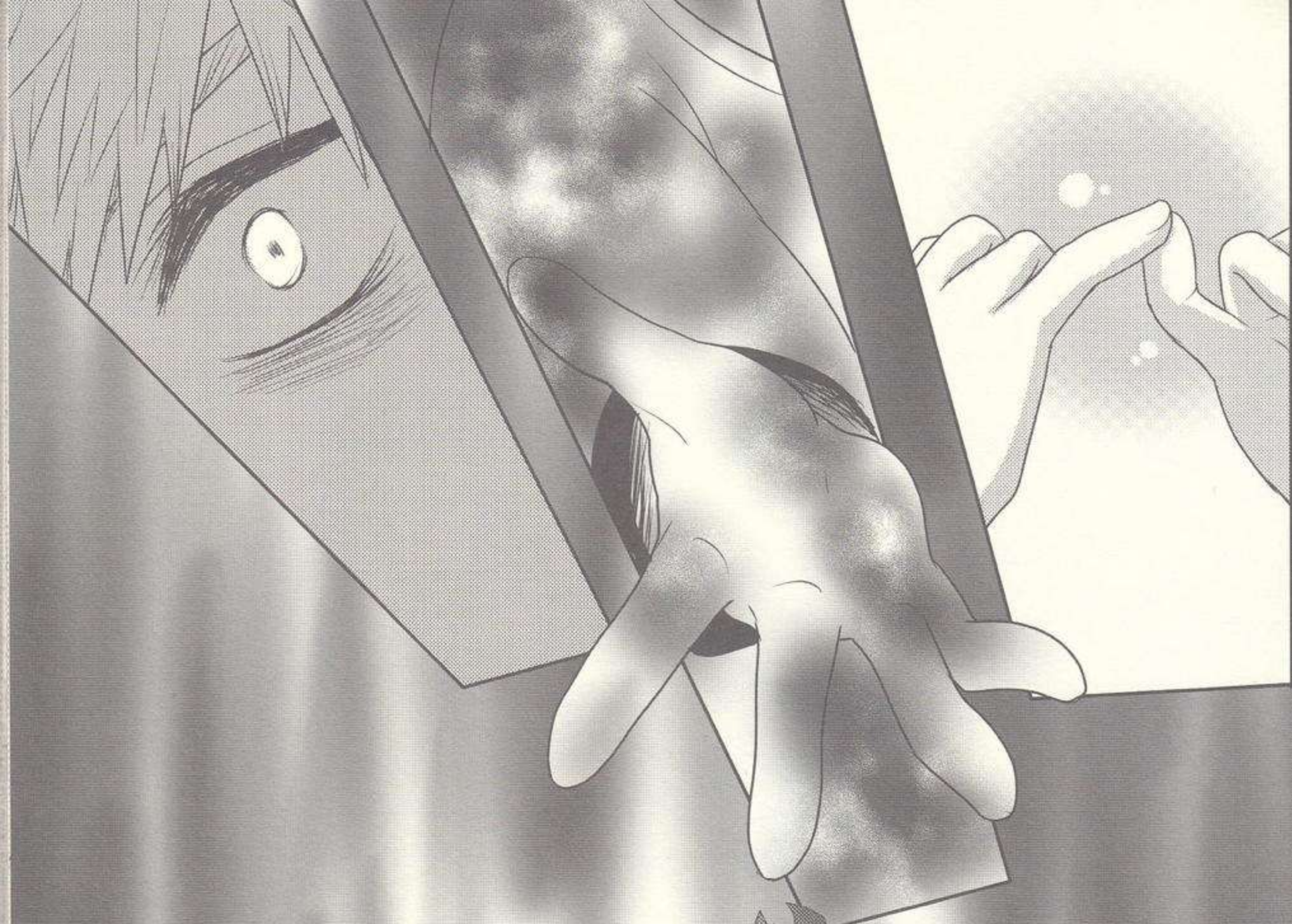
出久！  
ずっと俺を  
見てろよ！

すっげえ俺を  
ずっとずっと  
見てろ！

うん！

僕、かつちゃんを  
ずっとずっと  
見てろよ！





幼い約束を  
信じて

愚かだと  
誰かが嗤った

勝己

今日  
ゲーセン  
寄ってかね？

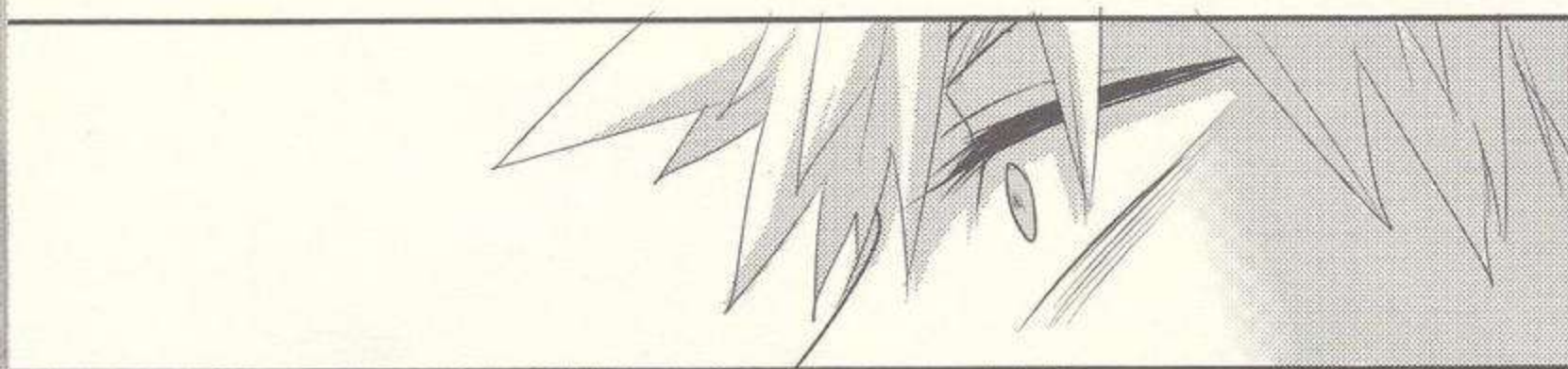
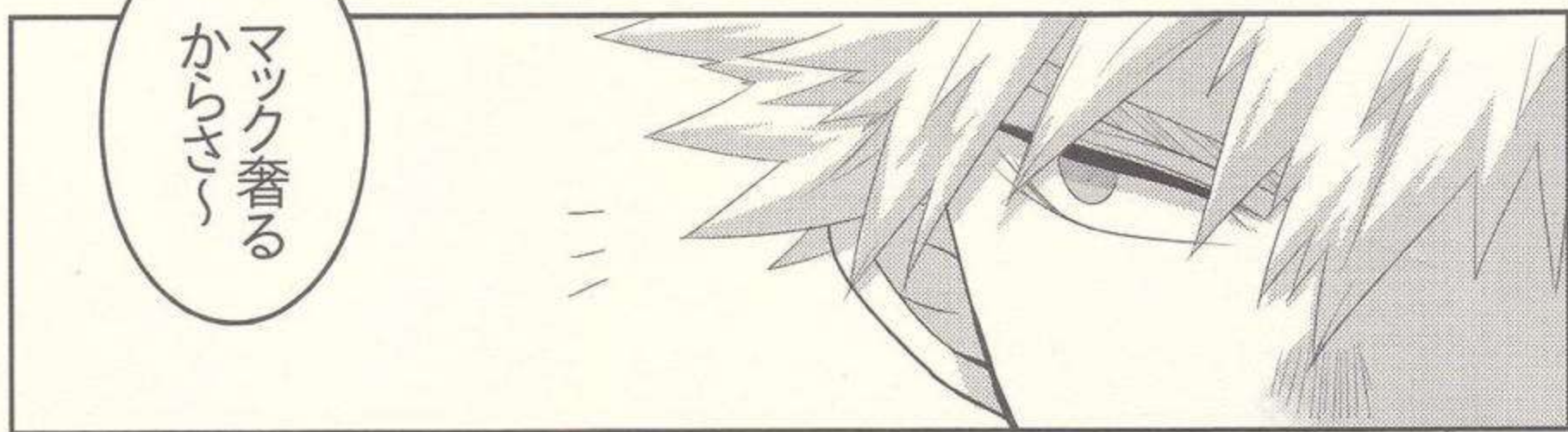
おっ  
いいな！

めんどくせ

新作の  
ゲームが  
出てんだよ

ガ  
ラ  
ッ










怯えを宿しながらも  
何か得体の知れない  
ものを秘めた瞳



キラキラして  
宝石のようにすら  
感じた幼い瞳は

もう俺には向けられない



その目



み：  
緑谷くん

僕のことを  
悪く言うのは  
構わない

でも彼女を  
悪く言うのは  
やめて

ああ？



…それとも  
なんだ

テメエら  
付き合っ  
てるのかよ？

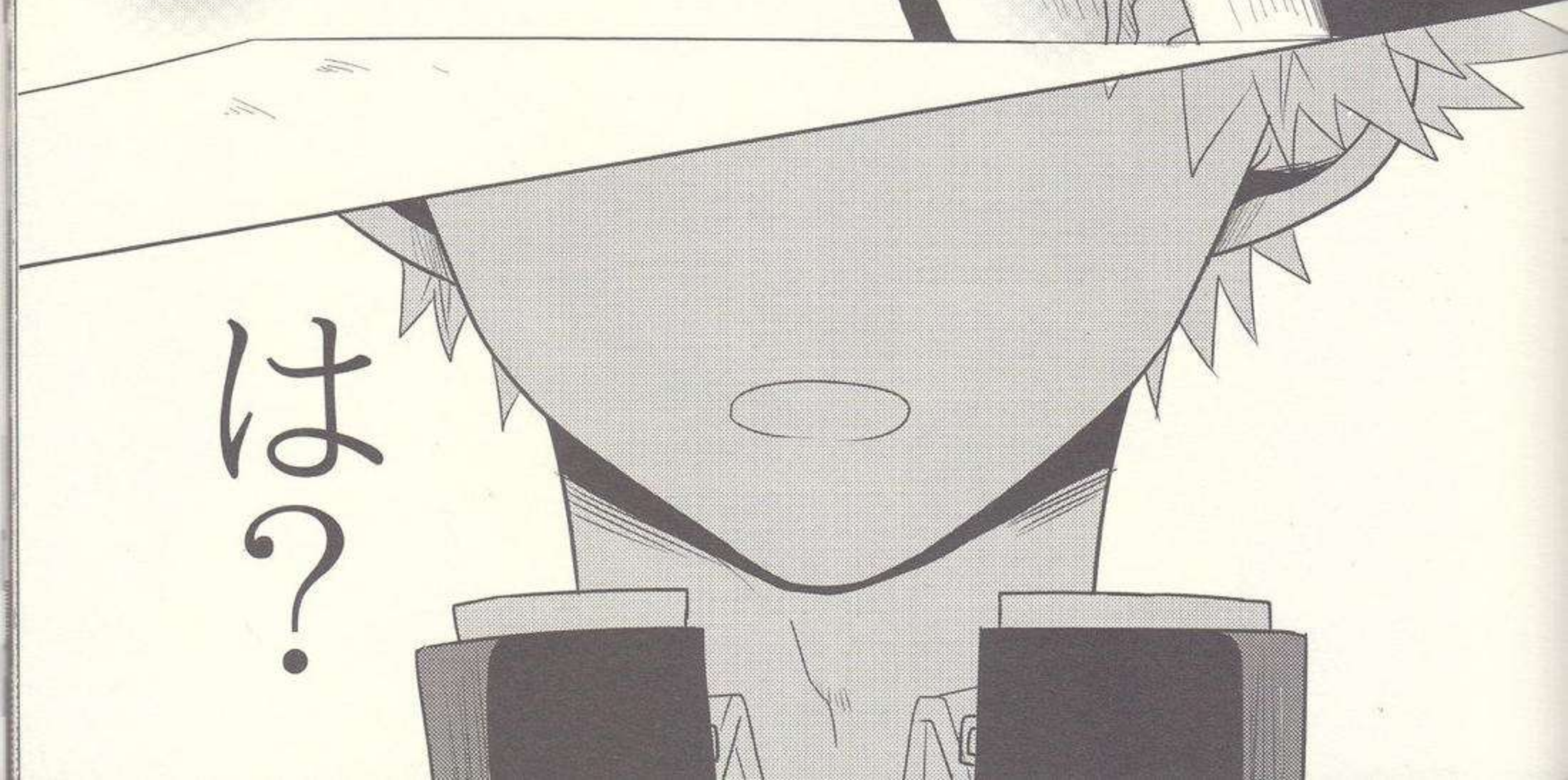


まじかよ  
地味同士  
お似合いじゃんw

あっはっはっ

はっ

デクのくせに  
生意気言ってるん  
じゃねえぞ！



は？



…行こう

早く先生に  
届けなくちゃ



かつ

彼女に  
失礼だろ!?

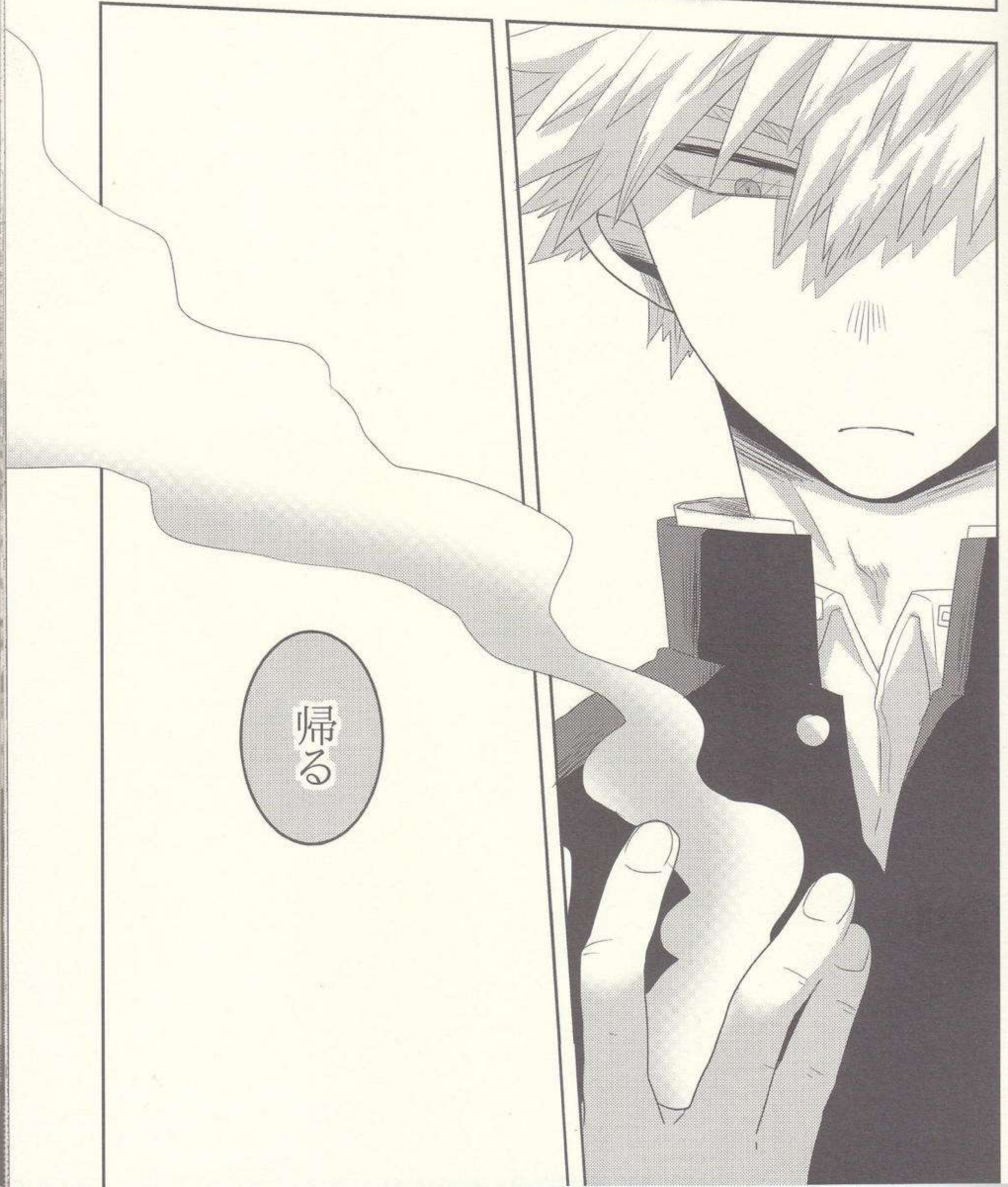


まっさか!!  
緑谷って  
女に免疫  
無さそうじゃん

だから  
地味な相手  
で丁度いい  
んじゃない?



…マジで  
付き合ってるの?



お前はとうしたって俺のものにはならない



大丈夫？

お前に手を  
差しのべられた瞬間

誰にだって手を差しのべて  
受け入れようとするくせに

俺はお前にとって  
ただのモブと変わらない  
存在なんだと思いきった

かつちゃん

特別なんか  
じゃなかった

かつちゃん

違う

特別だった

でも俺が求めた

「特別」なんかじゃなかった

かつちゃん

その苛立ちが  
破壊衝動になり  
お前を傷付ける

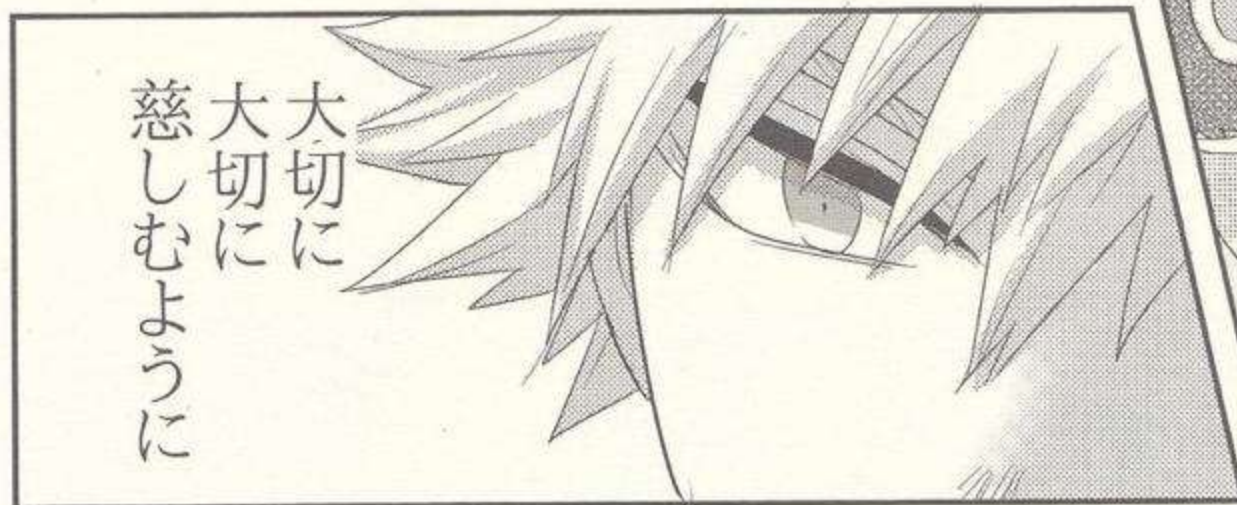
どうしようもなく  
お前を

——思い通りにならない現実を

壊したくなる



俺はきつと  
お前を大切に  
するのに



大切に  
大切に  
慈しむように



離れられないくらい  
夢中にさせて

とろとろに  
愛してやるのに



お前が俺のモノに  
なるのなら

でもお前は



かつちゃん！

何するんだよ！



大切にしたい

俺のモノなら

大切にするのだ

でもお前は

だつたら

俺のモノ  
じゃない

大切に  
する  
必要  
なん  
かな  
い  
よ  
な  
の  
？

やめろよ！

こんなの  
おかしいよ！

うるせえっ！  
痛い思いしたく  
ねえなら  
大人しくしろ！







やめろっ！

やだっ

あっ

汚いっ！



ぬろっ...



ズク...

イク...

っ！

ズク...



やだやだ  
やめて

そんな風に  
されたら...

っ！！

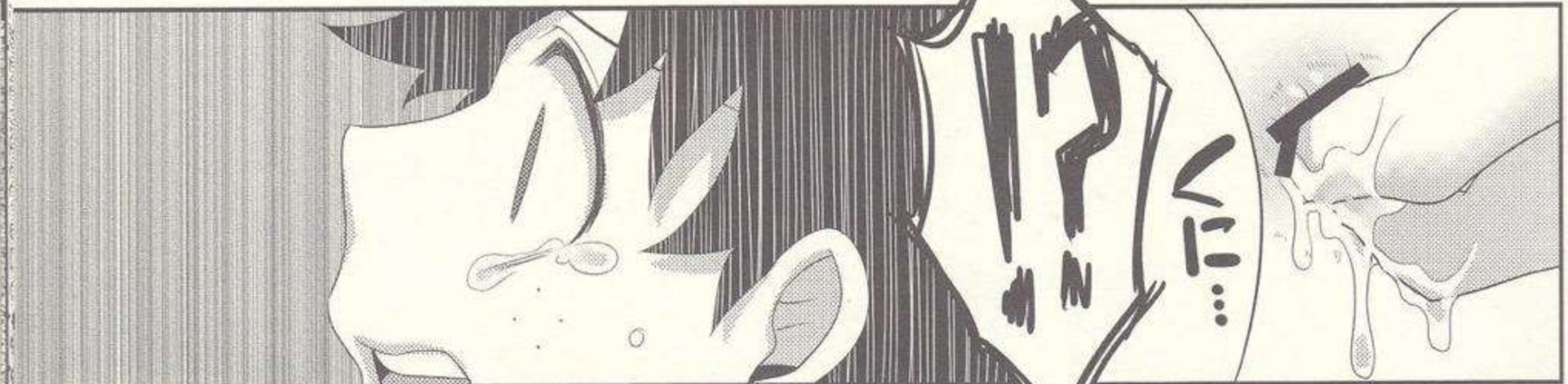




オラ、ケツ上げろ

ぐっしょり

あ……っ



……っ



いっ

何してんだよっ!

いちいちうるせえな……

ぐちゃっ

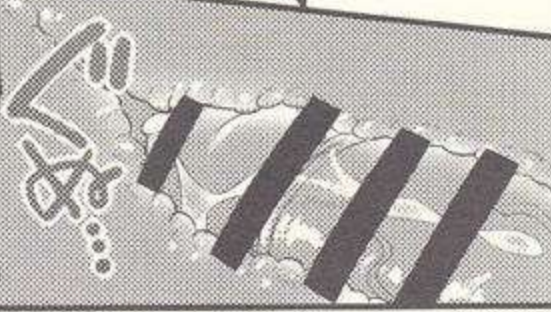
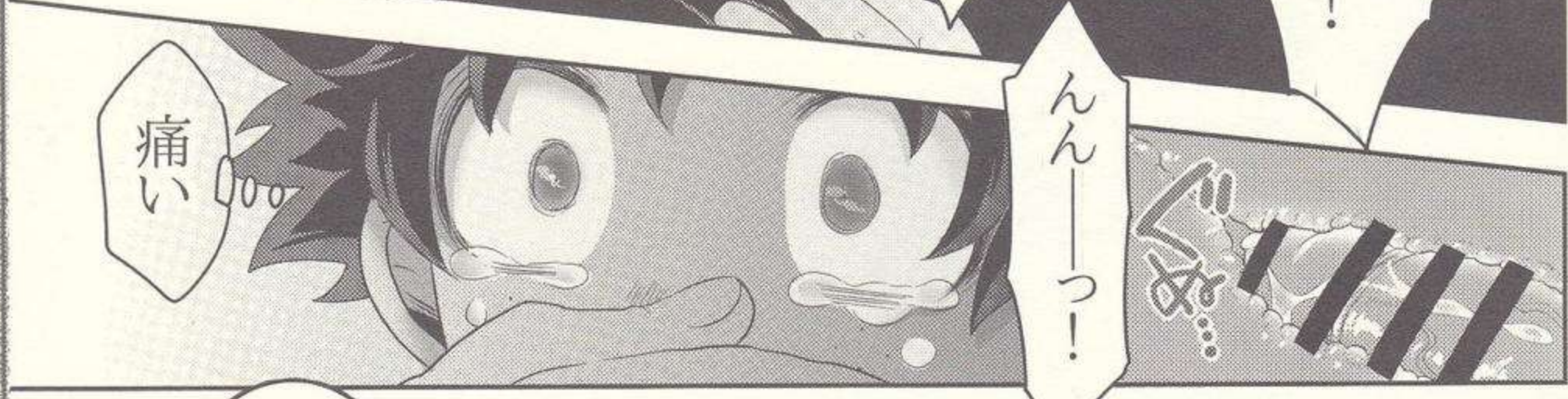
トサミキ





うるせえ...っ  
大人しくしろ！

んぐっ



んんっ！

痛い



ぬち...

あゝあ  
血い出て  
んな...



苦しい

んんっ！

ははっ

んん



処女みてえ



いちいち  
俺をイラつかせ  
やがって!

謝れ!

俺に  
謝れ!

あ

あ

クンが!

ぱん

ごめん  
なさい!

ごめつ  
ごめんなさい...

あうつ  
ごめん  
なさいっ!

許して...  
あつあつ

おん

そうだった

お前は俺よりの  
下だ

ズク...

そうやって  
みつともなく  
喘いで泣いて  
俺に乞え

俺だけ見てろ



うそ...  
中...  
出て...

びゅん

ぬいぽん

おんが

びゅん

お...  
終わった... た...

びゅん

おんが



まだ  
終わらねえぞ

へと...

くさくさ

!!

やだあつ

やめっ

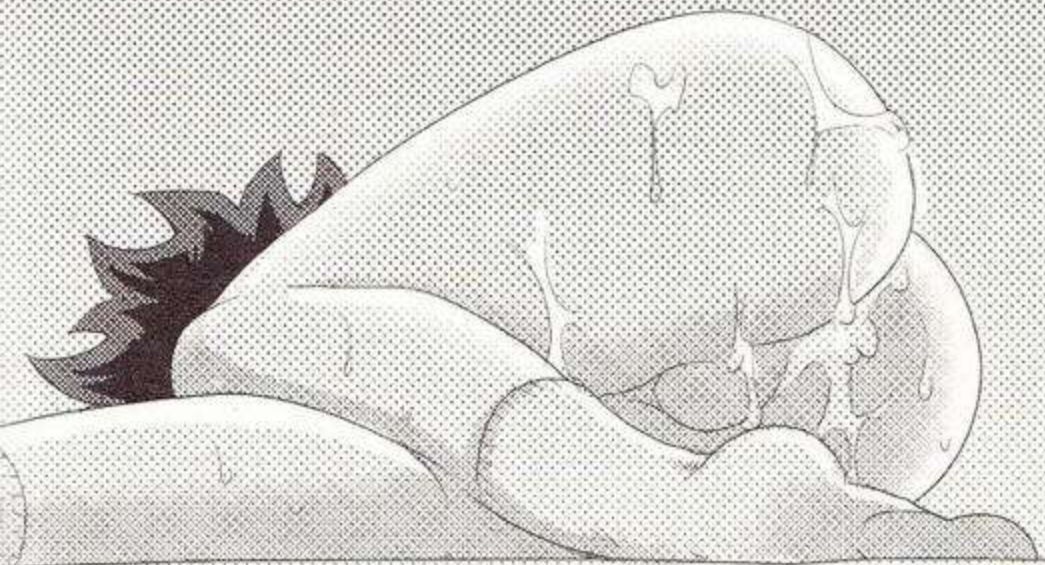
ああ!!

やつ

やだっ

カッパ

!!



…んね

無様だなあ  
デク…

はっ

はっ

…あ？

かつちゃんに  
こんなこと  
させて…

ごめん…ね…



ふ…

ふざけんな!!

テメエ  
わかつて  
のか!?  
ん

今!!  
テメエは!!



俺に!!

犯されたんだよ!!

レイプだ!!

ああっ!?

だって

テメエのそのその目が！！

僕より…  
かつちゃんの  
ほうが  
辛そうだ…



見るな

見るな

何だ…

その目は…！

くっそ  
ムカつくなあ！

見るな

俺を  
馬鹿に  
しやがって！

見るな

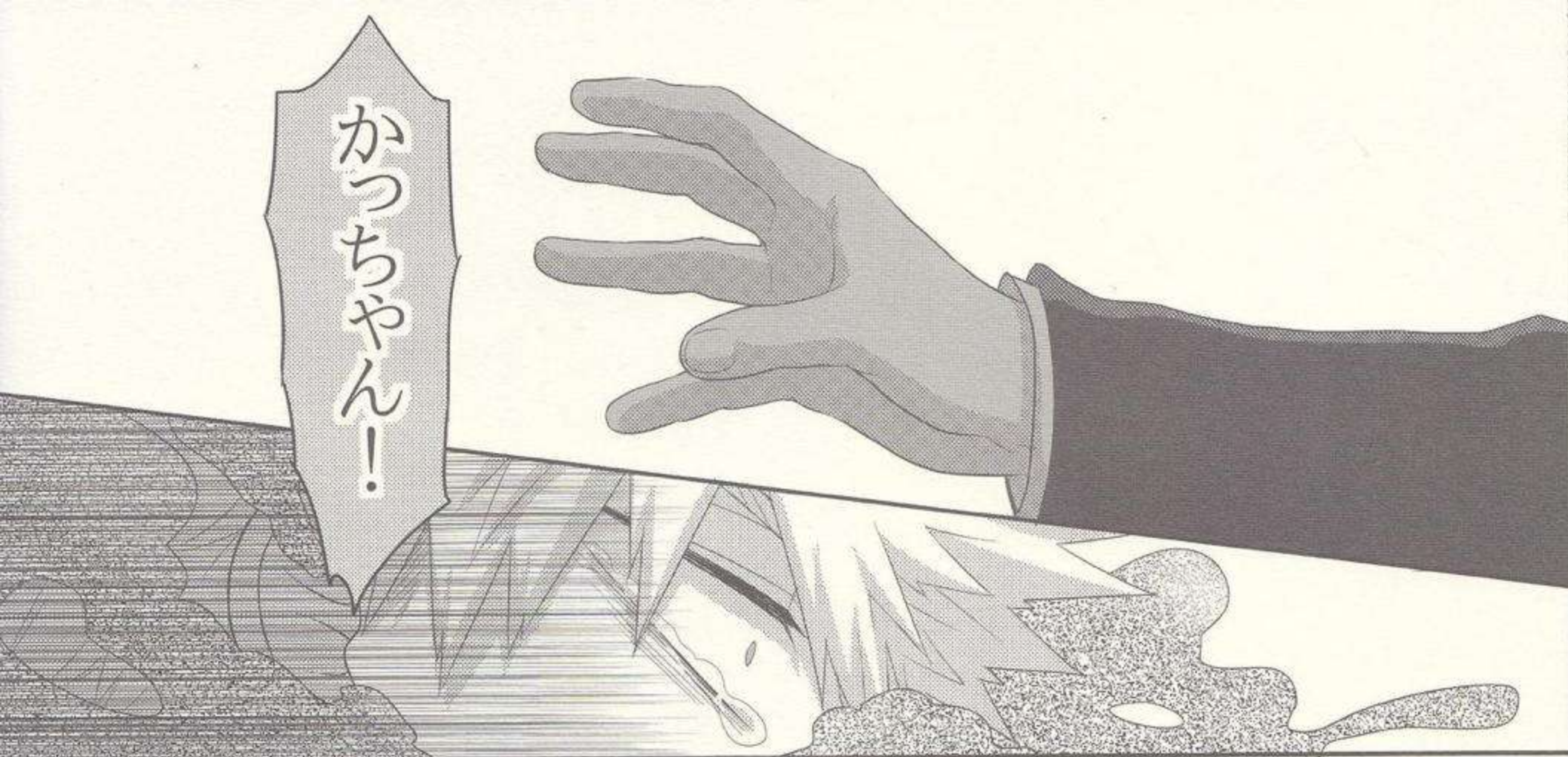


そんな目で俺を見るんじゃないやねえ！！



君が

助けを求め  
顔してた



お前は何度だって



きつと

この手は  
望めば大抵のモノを  
掴むことができる

それだけの  
才能も  
実力もあった

でもお前は





お前だけは



お前の手だけは  
掴めない





お前がそれを  
望まない

俺の手が  
伸ばされることを  
お前は



その日  
俺はお前から  
逃げ出した

耐えがたい  
屈辱

それ以上に

デク

デク

どこかで  
ホツとしていた  
自分がいた



痛くねえ

痛い

平気だ

苦しい

俺に

誰か

構うな

助けて


デク

出久

お前  
なんか

お前が





嫌いだ

好きだ

決して平行線は交わらない



——ただ大切にしたいだけなのよ。

MY HERO ACADEMIA FANBOOK  
KATSUKI BAKUGO × IZUKU MIDORIYA